

被災者の追い出しはやめて 必要な世帯に、仮設住宅の再延長を

「転居先が見つからない」の声、声、...

熊本市民連の予算要求交渉では、「希望するすべての被災者に、プレハブ仮設・みなし仮設の再延長を認めてほしい」ということが要望されました。

参加者からは、「ペットを飼っ

再延長対象は必要世帯の「4分の1」、3000世帯が対象外

昨年12月末で約5,000世帯の仮設入居者のうち、延長を必要としている世帯が約4,000世帯です。しかし、現行の基準では、再延長を認められるのは1,000～1,200世帯であるというのが、市の説明です。

国・県へ要望し、必要とする世帯の再延長を

国や県に基準見直しを要望し、転居先が決まらない世帯、住いの再建が未だの世帯すべてに再延長を認めていくべきです。

ているので、転居先が見つからない人がいる」、「市営住宅の上階には住めない」など、転居先が見つからないまま、仮設住宅の期限を迎えようとしている人の実情が出されました。

必要でありながら、延長の対象となるのは4分の1の世帯です。約3,000世帯が必要でありながら対象外で、プレハブ仮設・みなし仮設を追い出されることになります。このような被災者切り捨ては許されません。

日本共産党 市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 3階
発行：日本共産党熊本市議団
上野みえこ なすまどか 山部ひろし

NO. 1130
2019年2月3日号
電話 328-2656
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党 熊本市議団



検索



熊本のまちづくりについて考えましょう！ 熊本市民連主催の講演会にご参加を

「平和と民主主義・暮らしを守る熊本市民連絡会」主催で、熊本市のまちづくりのあり方を考える講演会が開かれます。

どうなる？ 熊本市の
ハコモノ中心のまちづくりを問う！
とき 2月5日(火)午後2時30分より
ところ 県民交流会館パレア会議室2
(鶴屋東館9階)

講師 中山 徹さん
(奈良女子大学大学院教授)

*参加費 無料



熊本市は、桜町再開発へのMICE施設「熊本城ホール」整備に457億円(再開発の補助金含め)。「花畑広場」整備20億円、熊本城見学通路建設に18億円。NHK・JT跡地買収に約30億円。加えて、市役所本庁舎の建替問題も浮上(約500億円の建設費が予想される)。大型ハコモノや無駄な用地買収が最優先です。一方で、国民健康保険料は政令市トップの負担、政令市2番目に高い介護保険料、「さくらカード」の改悪検討中、子ども医療費助成の窓口負担を月500円から1400円に引き上げ、敬老祝い品の縮小...など、住民サービスを次々に切り捨てています。

大型ハコモノ優先から、住民の暮らしや福祉・子育て応援の熊本市へ、これからのまちづくりを一緒に考えましょう。